



しろっこだより

赤穂市立城西小学校

〒678-0244

赤穂市城西町41番地

TEL 0791-42-0698

文責：北里 浩士



ずいぶん昔の作品ですが…「ピーナッツ」というアニメをご存知でしょうか？

きっと、「??」の方が多いことだと思います。1950年頃に掲載が始まったようですが…、そのアニメの主人公は、「チャーリーブラウン」と「スヌーピー」です。（と言えば、分かるかも知れません）

第16号は、「スヌーピー」の相棒？「チャーリーブラウン」のお話（名言）です。「チャーリーブラウン」は、数々の名言（迷言？）を残しています。その中で、印象に残っている名言があります。（どのような場面で発したかは不明ですが…）

【チャーリーブラウンの名言】

安心って言うのは、車の後部座席で眠ることさ。

前の席には親がいて、心配事はなにもない。

でもね、ある時、その安心は消え去ってしまうんだ。

君が前の席にいかなきゃならなくなるんだよ。

そしてもういない親の代わりに、君が誰かを安心させる側になるんだ。



子どもの頃は、親（大人）に守られているので安心です。でも、年齢を重ねていくと、「誰かを安心させる立場」（大人）になります。自分自身で、誰かとともに歩んだり、何かを判断したりすることになります。つまり、責任が背中に大きくのしかかってくることになります。大人は、いろいろなことが楽しめる反面、その分大きな責任をもって行動しなければなりません。チャーリーブラウンは、「大人になると立場が変わるんだよ…」と言いたかったのでしょうか…。

先生や保護者としての役割は、子どもを自立させて、前の席に行かせることです。数年後に、子どもたちが、自分の力で安全に運転できる（人生を生きる）ことができるようにならなければなりません。親（大人）から子へ、「運転のバトンタッチ」を意識しておく必要がありますね…。

チャーリーブラウンは、次のような名言も残しています。



『ぼくはみんながそばにいて欲しいって思うような人になりたいんだ。

つまりね、「見ろよ、チャーリー・ブラウンが来るぞ！これで安心だ！」

って人が言ってくれるような…』

「これで安心だ！」と言われるような人になりたいですよね…でも、難しいですよね…。

(裏面へ続きます)

アイマスク体験（4年生）

1月27日（火）3, 4校時、4年生が「アイマスク体験」を行いました。アイマスクとは、ご存じのように、両目を覆い周りの物が見えないようにするものです。

児童は、〈アイマスクを着けて見えない状況になる児童〉と〈声を掛けて案内する児童〉でペアになり、校舎内を歩きました。アイマスクを着けた児童は、「周りの物が見えない中で歩く不安な気持ち」を体験し、案内をした児童は、「横で案内する難しさ」を体験することができました。

目が不自由な方の立場を考える機会でもあります。相手の気持ちを考える体験になったことだと思います。ゆっくり…そーっと…歩く様子から、お互いの優しさがうかがえた場面でした。



「点字の学習」（4年生）

点字（てんじ）とは、指先の触覚により読み取ることで、視覚に障がいがあっても読むことができる文字です。（ウィキペディアより一部引用）

平面から盛り上がった点を指先で読みます。
(下の黒い点が盛り上がっている部分です。)



あ	い	う	え	お
● -	● -	● ●	● ●	- ●
- -	● -	- -	● -	● -
- -	- -	- -	- -	- -

（大阪府のHPより引用）

4年生児童は、1月29日（木）に、「点字の学習」を行いました。27日に続いて、視覚の不自由さを体験する学習でした。点字を用いて、文を作ることを教えていただきました。点字は、切符の販売機、飲み物の販売機、缶飲料の開け口等でよく目にすることができます。今後、様々な立場の人と共に生活するための心を成長させてほしいと願います。

【ご注意ください：発熱・せき等 風邪症状の児童が増えています】

城西小学校のみならず、赤穂市内の小中学校で体調不良者が増えています。学級閉鎖を行う学校も増えています。「手洗い」「うがい」「十分な睡眠と栄養補給」を心がけましょう。

なお、学級閉鎖を行う場合は、当日、10時30分頃の下校を予定しています。感染拡大を防止するために、給食を食べずに下校させます。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

